

福王寺だより

いよいよ北海道にも夏が訪れ、良い季節となつてまいりました。福王寺でも定例行事の地藏盆、そして盂蘭盆会が執行されます。

「ありがとうございます」や「おねがいます」、「元気でやつているよ」、「守つてね」、亡き人に思いを馳せて、心を通わせ、感謝の心や幸せを祈る、そんな行事となれば幸いです。

お地藏様

旧暦七月二十四日はお地藏様の縁日です。福王寺もお地藏さんとご縁が深く、霊牌堂の本尊様が地藏さんであり、福王寺で一番古い仏様もお地藏さんです。そんなご縁から、毎年七月二十四日に地藏盆のお参りがごぎいます。

お盆も近いのに、どうしてと思われる方もあると思います。内地では地藏盆といったら子供のお祭りのような感覚で、慣れ親しんでいる地域が多



くありますが、北海道では耳馴染みしない感でピンとこないのが現状でしょう。

お地藏様はどんな世界にいつても代わりなく苦しみを受けて、救つて下さるといってお誓いがあります。また子供の守り本尊としてお祀りされることが多くあります。

そこで、この縁に際し、福王寺の地藏盆では、たくさんのお灯明をささげ、お地藏様を讃え、どんな人でもお救い頂けるようご供養しております。

先祖供養はもちろん、子供を救うお地藏さんですから、水子供養、また無縁仏の供養、お知り合いで世話になつたかたの俗名でも供養して頂いてかまいません。自分の心にある亡き人がお地藏様に救われるようお参り致します。

子供がお参りしやすいように、お菓子まきやスイカ接待もごぎいます。家族では是非手をあわせていただきたく、案内いたします。

また子供の縁に際して人形供養も行っておりまして、詳しくは別紙をご覧ください。



お盆

近年はお盆も関係なく休みでないところが多くあり、お盆だからといって手をあわせる文化が薄くなつてきております。しかし、亡き人に「ありがとう」と心を向ける時間はとても大切な事だと思えます。

日本は物質的に豊かになりましたが、心が貧しくなつたといわれ、人付き合いが減つた分孤独死など、繋がりが無く寂しい時代でもあります。忙しいとは心を亡くすと書きます。何かとすべきことはあると思いますが、いのちの繋がりに手を合わせる時間を作る事も大切なのではないのでしょうか。

仏壇のない家庭やお子さんでも、亡き人に思いを馳せ、家族でお参りいただきたく存じます。きつと先祖様も微笑んでくれることでしょう。

「垂乳根の親につかえて、なめなるは人の誠のはじめなりけり」



行事のご案内

夏下座行

七月二十一日 午前八時三十分

於 津別町福王寺

地藏盆万灯会

七月二十四日

午後五時集合 六時よりお参り

於 津別町福王寺

盂蘭盆会

八月十五日 十三時

於 北見別院

八月十六日 十時

於 津別町福王寺

※津別と北見別院お参りの日付違いますので
注意下さい。

寺院 活動報告

北海道八十八カ所三十五番
福王寺北見別院 開創法会

四月三十日、福王寺北見別院にて開創法会を執行致しました。法類寺院に、乗寺頂き、総代さんや御詠歌さんをはじめ、五十名近くの参拝の方がこられました。

檀信徒問わず、皆様が幸せを祈れる場所として活動できれば幸いです。是非北見に

在住の方や近隣の方で、納骨棚もございまして、高野山弘法大師の寺院のお仲間になつていただければと幸いです。

先人たちが残してくれた心の行事大切にして過ごしたいと思っています。

福王寺 参道整備

境内の参道に軽トラックが通れるように、山田総代、藤原総代、江草さん、谷さんが来られて整備して頂きました。本当に、皆さんの力があつてありがたい限りです。

是非皆様も境内の参道お気軽に
お参りください。



春下座行



今年の晴天のもと、境内を綺麗にするこ
とができました。秋が雪にやられて掃除でき
ませんでしたので、たく
さんの落ち葉があり大変ななかの執行でした。
是非皆様も助け合つて、先祖を祈る、弘法大
師のご加護を賜る寺院で修行をしましょう。

山開き 毘沙門天祭

福王寺境内にある、八十八カ所霊場を巡拝しそれぞれの祈りを込め、お参り頂きました。



罪を減し、善を増す。そんな修行のお参りです。そして福徳の神様毘沙門天様をお讃えし、今年の豊作や家内安全等、福徳があるようご祈念致しました。

皆様に福徳がありますよう。

また、前日には餅つきもして頂いて
おります。六地藏と水子地藏の



前掛けも御詠歌さんを中心に作成頂きました。ありがとうございます。

花壇整備

今年も婦人部の農家の奥様方を中心にお集まりいただき、正面入り口の花壇に花を植えて頂きました。

お寺にいられた方々が「綺麗だな」と思うことで気持ちよく、快くお参りする事が出来る。

皆様の行いの功德です。本当にありがたい限りです。

皆さんが支えあつて、心通わせるお寺となる事ができたなら幸いです。



四国八十八カ所巡拝

来年の四月一日から十四日まで

四国八十八カ所霊場の巡拝へ伺います。是非お誘い合つて四国へ行きましょう。

遠くの檀家さん札幌や内地の方でも現地集合で構いませんのでお気軽にお尋ねください。

また檀信徒以外でも構いません。お誘い合つてお参りください。

詳しくは別紙参照ください。

ホームページ案内

津別町福王寺で検索にかかると思っています。

<http://fukuoji.info/>

「Facebook」というサイトのページもござい

ます。寺院活動随時更新しておりますので、是非検索してご覧いただければ幸いです。

またお子さんやお孫さんに是非お教之下さい。自分のお寺がどんなところか、どんな事をしているのか、お寺を身近に感じていただければ幸いです。



福王寺のお盆参り

七月に入つてまいりますと、お盆の棚経（皆様の仏壇へお参りに伺います。お盆の棚経（皆様の

お参りに伺う葉書をみて「何故棚経なのですか？」と聞かれたことがあります。昔はお盆には仏壇とは別に、お盆のための棚（精霊棚）を設け、そこで特別に供養していたようです。

お盆の十三日には、亡き人が帰つてこられるというので、先祖様が迷わないように迎え火を焚き、お迎えし、その棚に季節の野菜や果物をお供えし、お接待致します。

棚経はそのご先祖様がいらっしゃる、棚に向かつて仏さまの言葉であるお経を読み、供養致します。

八月の十三日からだと全

ての檀家さんをお参りできま

せんで、お盆のお参りは、七月中旬からお参りさせて頂いております。

その際に塔婆という木を各仏壇にお配りしております。塔婆は地水火風空といったこの世を構成する四大元素と空間を表し、大日如来を表します。

塔婆供養は、「塔婆11仏」に先祖の名を刻み仏さまと一体となり、幸せであるように供養致します。

その塔婆を八月十六日、北見別院では十五日にお寺へお持ちいただき、ご先祖様にお帰り頂く送り盆の供養と、仏教伝来の教えであります。盂蘭盆会のご供養、施餓鬼供養を實施しております。

もし、自身が亡くなり一年に一度帰る事ができたなら、親しき人がそうして心を寄せてお迎えして、お接待して、送つていただけたら、どんなに有難いことでしょう。

そして、お互いが思いあつて過ごせる時間があつたなら、本当に素晴らしい供養であり、時間となる事と思えます。

どうか子供たちやお孫さんにも声をかけて、そんな思いを伝えて頂きたく存じます。



盆棚のまつり方

利照堂仏具店ホームページ参照)

左下の図の説明

一、ソーメン 昆布 ホウズキ 山ゆり 里芋 根付 など)

今年取れた野菜の葉 柿、蓮、インゲン豆等)

二、位牌

最上段に奉ります。

三、三段盛

上段から順に、つみ団子、お菓子、果物をお供えします。

四、御霊膳

御飯、味噌汁、お茶、煮物、御惣菜をお供えます。

五、牛と馬

ナスの牛、キウリの馬を作ります。

六、水の子

蓮【宇】の葉に、ナスのみじん切りをのせます。

七、浄水

お椀に水を注ぎます。

八、マコモ

牛と馬、水の子、浄水等の下に敷きます。

九、経机

ローソク立、線香立、りん等、仏具を並べます。

十、(ギ膳 経木)

(ギ膳に御飯とおかずをお供えます。うらやましくて近寄ってくる霊(無縁仏)に施す意

味があります。

十一、お花

香花 生花 (色花)

松明

迎之火(十三日)、送り火(十六日)

「お供えの例」

十三日 迎之ダング

十四日 朝 あつめ汁 (ごぼう、人参等)

昼 おはぎ

夜 瓜もみ、煮物等

十五日 朝 すまし汁、八杯豆腐

昼 そうめん

夜 好物

十六日 送りダング、お煮しめ等



お盆は地方によってそれぞれ違います。北海道のこちらの地域では、こういった盆棚(精霊棚)は殆ど見かけませんが、仏壇の上に縄を張って野菜をぶら下げたり、ナスやキュウリといった馬や牛をお供えしている家がございます。

亡き人をお迎えしてお接待する場所、そんな思いやりの棚でございます。皆様も個人に思いを馳せ、好物を用意して提灯を灯し、出来る範囲でお接待してみたいかがでしょうか。

また是非、いのちの繋がりにあるお子さんやお孫さんにも手をあわせる時間を作って頂けるとご家庭でもお声がけお願いいたします。

思いやる心を育てる事は、私たちが幸せになる道でもあります。

合掌